

◎山下浩雅観光文化スポーツ部長

市の人口の6割を占める松任地域においてもジオパーク熱を高め、ジオパークに対する理解を深めることが不可欠と思うが、その対応策はについてであります。

松任地域は、白山手取川ジオパークを構成する大地において大切な場所である手取川扇状地の大部分を占めております。

こうしたことから、これまでも水の旅学などの一般向け学習会では、エリア全体を意識しながらお米やお酒など、多くの恵みとともに島集落などを含め、扇状地をテーマとして取り上げております。

また、横江荘遺跡に関連した古代米とジオパークが連携した取組や御手洗公民館のアサギマダラとスナビキソウの保全活動、白山市ふるさと歴史研究協議会のジオパークエリア全域の動画作成など、地域団体の活動も活発に行われております。

さらに毎年松任地域の各種団体からジオパークに関する講習会の依頼も数多くあります。このことから、松任地域におけるジオパークへの関心は相当であるというふうに感じております。

また、松任地域の各小学校においても、議員御案内のとおり、ジオパーク遠足をはじめとした様々な学習を行っており、中学生向けアンケートでは80%以上の生徒が「ジオパークを知っている」と答えております。

白山手取川ジオパークの活動は、白山市全域に目を向け、保全と活用を積極的に図りながら一体的に持続可能な地域づくりを行うことを目的として取り組んでおります。

今後も白山ろくと平野部とで相互に行き来するような学習活動の一層の推進を図り、各地域団体とも積極的に連携しながら、エリア全体のジオパーク熱と理解を高めてまいりたいと考えております。

以上でございます。